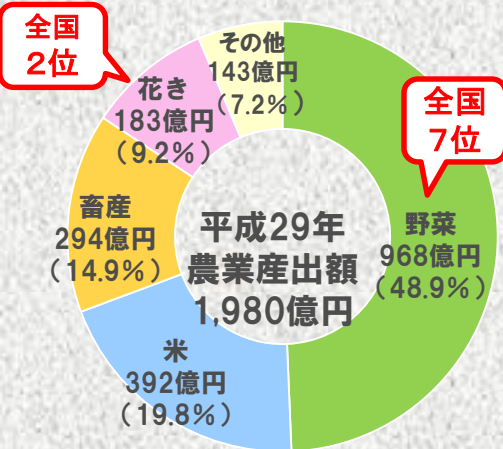


新たな農業ビジネスモデル



- ◆日本の人口の「3分の1」を占める巨大なマーケットに位置するという強みを生かして力のある農林業を実現
- ◆平成29年の農業産出額は1,980億円(全国18位)で、花きの産出額は全国**2**位、野菜の産出額は**7**位

埼玉県の農業産出額



出典 農林水産省「生産農業所得統計」

食料品製造出荷額
1兆7,826億円 (全国2位)

全国1位



さといも 48億円



パンジー 6億円

全国2位



ねぎ 204億円



ほうれんそう 116億円



ゆり 31億円



こまつな 47億円



ブロッコリー 51億円



洋ラン (切り花) 4億円

等

新たな需要を生み出し、農業所得をアップ

「新たな農業ビジネス」による
付加価値の向上

輸出

観光農園

農家民宿

農家直売

農商工連携

6次産業化

ビジネスチャンスの創出・販路拡大



農業の6次産業化について

- 農業者等が農産物の生産(1次産業)に加え、加工(2次産業)や流通・販売(3次産業)にも主体的にかかわり、新たな価値を生み出す取組 ⇒ 農業の稼ぐ力が向上

商品化・販路開拓に向けた県の支援

農林振興センターによる
個別相談



加工技術・衛生管理に
関する研修会



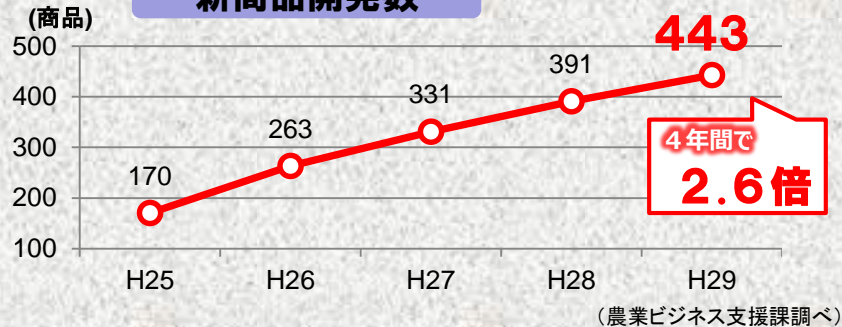
農業者と食品関連事業者の
異業種交流会



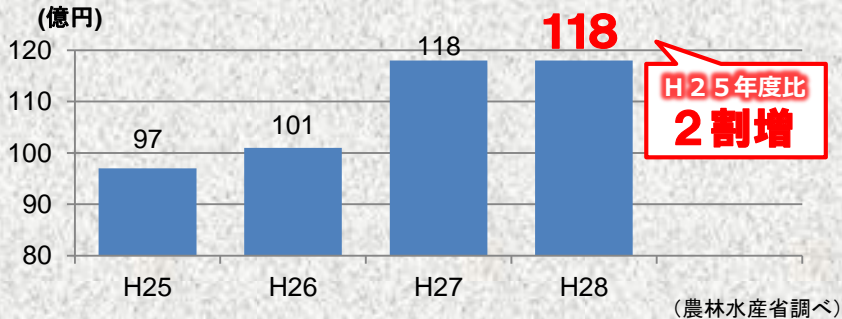
商談能力向上研修会



新商品開発数



6次産業化関連販売金額





農業の6次産業化による商品開発

ドレッシングシリーズ「彩の畑から」

・10人の農業者が共通ラベルを作成してシリーズ化



“食べるドレッシング”ねぎドレッシング

・外観の劣るねぎを調理の技を用いてドレッシングに加工



埼玉青なすサブレ（みそ漬・なら漬）

・若い人に埼玉青なすを食べてもらうためクッキーを開発



サイダーシリーズ（ゆず・いちご・なし）

・個々に開発したサイダーをセットにすることでお中元に対応



問い合わせ 埼玉県6次産業化サポートセンター(県農業ビジネス支援課) 048-830-4095

埼玉県知事記者会見



第11回 埼玉県農商工連携フェア (主催：埼玉県・JAグループさいたま)

共同開催

農と食の展示・商談会2019 (主催：埼玉りそな銀行)

◆ 県内の農業者と全国の食品関連事業者等が一堂に会する商談会

[日 時] 平成31年2月6日(水) 10時00分～17時00分

[場 所] さいたまスーパーアリーナ

農産物等の展示商談会



県産農産物等の展示・商談
計207団体

セミナー



「地域らしさ」を生かした商品づくり
など4テーマ

農業発！新商品お披露目会



こまつなふりかけ



梨のぴくるす



いちごシロップ

6次産業化新商品40商品の展示・PR